



photo : Ai Hirano

# Tachibana Being vol.74



WebTBはさらに充実

<http://www.tachibana-u.ac.jp/webtb>

January 2014

特集

## 自分らしい就活～京都橘大生編～

- 02 京都橘大学のキャリアサポート
- 04 インターンシップ体験
- 06 内定者インタビュー PART1
- 08 就活って何？先輩に聞きました！
- 10 内定者インタビュー PART2
- 12 ニュース&トピックス

京都橘大学は、人文・教育・社会・医療の5学部10学科からなる総合大学です。「自立」「共生」「臨床の知」を教学理念とし、社会と人々の幸福に貢献できる、実践的な学問の追究と人材の育成をめざしています。  
ここでは、将来の夢や希望する進路を実現するために本学で展開している「キャリア教育」と「就職支援プログラム」について、ご紹介します。

## キャリア教育、就職支援プログラムの特徴

### キャリア教育

#### 1 入学時から開始するキャリア教育



1回生から「基礎教育科目群」として、日本語能力・英語・情報処理の3つを必修科目とし、社会人として必要なスキルを身につけます。そのほか、「キャリアデザイン入門」などの多くの実践的な科目によって将来の仕事に役立つ知識を修得します。

#### 2 充実したインターンシップ



単位認定型インターンシップにおいて、学業の一環として就業体験をし、自らの将来をじっくり考えることができます。事前研修から事後学習まで数多くのプログラムを経験し、受入企業からも評価を得ています。

#### 3 キャリア形成につながる専門演習(ゼミ)



各学部で4年間にわたって開講されるゼミは、実社会でも通用する力を養成し、キャリア形成につなげます。実社会で必要とされる高度な問題解決能力、情報収集力、思考力などをゼミで養います。

#### 4 専門職への就職サポート



本学では、看護職や救急救命士、教育職など専門職を志す人材を育成する学部・学科があります。これらの専門職の進路をサポートするため、国家試験対策や教員採用試験対策のプログラム、教職保育職支援室による特別な取り組みを行っています。

### 就職支援プログラム

#### 1 キャリアアドバイザーによる個人指導



キャリアセンターでは、3回生時に志望に応じて各人の担当アドバイザーを自由に決めることができます。大手民間企業で人事などを経験してきたアドバイザーの的確な助言・指導を進路が決まるまで受けられます。

#### 2 多彩な就職ガイダンスと各種就職実践講座



1回生から各種の準備講座やガイダンスを開催します。就職活動の段階に応じ、筆記試験対策や面接試験対策、ビジネスマナーなどの実践的な講座を繰り返し行います。また、企業の人事担当者を招いて業界別講演会や、学内企業説明会なども実施しています。

#### 3 大学教職員と父母との「連携」



就職支援では、大学と父母(家庭)との連携が必要不可欠です。本学では、毎年春の父母の会総会や地区別懇談会の場で「就職懇談会」を開催。学生の就活状況の報告、子どもとの接し方にいたるまで幅広く情報交換や共有を行い、総合的に学生を支援しています。

#### 4 4回生就活オリター



下回生の就活支援を目的として、4回生就職決定者が就活オリターとなり、就職ガイダンスやキャリア系科目で自らの体験談を話したり、相談等に答えます。そのほか、3回生以下の不安軽減や質問に答える「就活Theだんかい」も実施しています。

## キャリア教育、就職支援プログラムの4年間の流れ

	1回生	2回生	3回生	4回生
キャリア形成プログラム (正課科目)	基礎教育科目群 (英語I~IV、情報処理演習I・IIなど)		専門ゼミ	専門ゼミ
		キャリアデザイン 入門(前期)&キャリア 開発演習(後期)	キャリア開発研究	
	キャリア開発講座			
		インターンシップ		
就職支援プログラム (正課外)	キャリアカウンセリング			
	キャリアガイダンス		就職ガイダンス	
			学内合同企業説明会	
			書類作成・面接対策サポート講座	
	筆記試験対策講座・業界別講演会		キャリアメイト (就職活動学生委員)	就活オリター活動



就職・進路のことで  
困ったときは  
キャリアセンターへ

キャリアセンター(就職進路課)では、在学生や卒業生の就職や進学などの進路を、きめ細やかにサポートしています。民間企業や公務員の採用に関する情報提供、筆記試験対策講座、企業説明会や業界別講演会、ガイダンスなどを実施しています。  
キャリアカウンセラーの資格を持つスタッフをはじめ、進路支援を担当する専門スタッフが常駐していますので、エントリーシートや履歴書の書き方、企業研究の方法、面接の練習など、就職活動に関する疑問や悩みなど何でも気軽に相談しに来てください。  
また、キャリアセンターでは、就職関連の資料や図書、雑誌、新聞などを豊富にそろえた資料室と、インターネットによる求人情報を迅速に収集できる情報検索室を併設しています。  
内定者の多くもキャリアセンターを積極的に利用しています。ぜひ、就職進路課に足を運んでみてください。



## 京都橘大学での学びを活かし、くじけない強い意志を持って就活を

学生部長 文学部歴史学科 南 直人 教授

いよいよ3回生の就職活動が本格的に開始されました。大学で学んだことをどのように自分の将来につなげていくか、このことを皆さん一人ひとりが問われることになるのが、就職活動です。これは教員・看護師・公務員をめざす人だけでなく、民間企業への就職をめざす人すべてに当てはまることです。

京都橘大学では、直接キャリア形成を内容とする「キャリアデザイン入門」や「キャリア開発講座」「キャリア開発演習」などの科目があり、キャリア教育を支援する万全の体制を取っ

ています。それに加えて皆さんは、学部・学科別の専門教育科目においても、直接・間接に就職活動に役立つようなさまざまな内容を学んできているはず。ゼミ発表でのプレゼンテーションなどもそのひとつといえるでしょう。  
しかし、これからの就職活動の現場が必要とされるのは、そうした今まで学んできたことを応用する力であり、また困難な状況にあってもくじけない意志の力です。厳しい社会に出て行く第一歩を皆さんは歩み出しています。健闘を祈ります。



林 みどり さん  
文学部  
日本語日本文学科 3年生

## 株式会社黒壁 編

### Q. 株式会社黒壁をインターンシップ先に選んだ理由は？

A. 芸術に携わる仕事に興味があり、芸術に関係した企業で仕事を体験したかったからです。黒壁は、長浜でガラス事業を展開している会社です。ショップ、工房、ギャラリー、美術館、レストランなどを経営し、ガラス文化を発信されています。今回そのなかにある黒壁ガラス体験教室で研修ができると思い選びました。

### Q. どのような就業内容でしたか？

A. 黒壁ガラス体験教室での接客でした。さまざまな体験教室があったのですが、サンドブラスト教室とジェルキャンドル教室を担当し、来られたお客様への説明や、製作のお手伝いを主にしていました。そのほか、店舗での商品の補充や陳列、ラッピングなどをしました。

### Q. 参加して参考になったことは？

A. 自分では接客に向いていないと思っていたのですが、やってみるとおもしろいと思いました。初めは緊張していて、自分が対応しているお客様のことしか見られなかったのですが、研修3日目くらいからは周りの様子にも気を配りながら動けるようになりました。また、お客様一人ひとりの表情を見ながら、理解されていない部分に気づき、丁寧に説明をするなどの対応もできるようになりました。

### インターンシップを終えての感想は？

社会人として働くことの大切さと大変さと、仕事に対する責任の重さを感じました。接客の仕事は初めてだったので、社員の方の視野を広く持って動かれていたことや、お客様に対する細やかな心配りなどを間近で見ることができて、とても勉強になりました。業務の目的を明確にして取り組んでいくことが大事だと思いました。まだ具体的な企業や業界などは決めていませんが、将来を考えるいい機会になりました。



#### CAMPANY PROFILE

##### 株式会社黒壁

滋賀県長浜市の中心市街地の再生を目的に、第三セクター方式で設立された株式会社。ガラス工芸に着目した複合的な事業展開をしている。現在、「黒壁スクエア」として多くの観光客が訪れる観光スポットとなっている。



## 3 京都ノーザンチャーチ北山教会で挙式を見学

教会実習では、二組のお客様の挙式を見学させていただきました。結婚式を見るのが初めてだったので、最初は感動しただけで終わってしまいました。二組目のときは、実際に動くクルーとしての目線で見ることができました。挙式当日の流れや、アテンド（介添え人）としての動き方を間近で見ることができ、大変だけれど、とてもやりがいのある仕事だと改めて思いました。挙式が終わったときに、親族の方から私にも「ありがと」と声をかけていただけたことがうれしかったです。その一言が頑張れる原動力になると感じました。

### インターンシップを終えての感想

仕事って何だろうと漠然としていたことを、一から教えてもらいました。誰のために仕事をしているのかを意識するだけで、やりがい生まれることに気づき、どんな業務でも積極的に取り組もうと思うようになりました。また、仕事をする上でのコミュニケーション力の必要性を実感しました。ミスがあってはいけない仕事なので、関連部署との連携を密にすることも大切です。その一歩として、皆さんが気持ちよく仕事ができるように、いつも元気に笑顔であいさつするように心がけていました。現場での業務を経験したことで、もっとプライダル業界のことを知りたいと思うようになりました。

#### CAMPANY PROFILE

##### TAKAMI BRIDAL (高見株式会社)

今年で創業90周年を迎えた総合プライダル企業。京都に本社をかまえ、プライダルコスチューム事業やチャーチウエディング事業、ハウイウエディング事業やプライダルのスクールの運営など全国で幅広い事業を展開している。



## 2 引き出物の確認

行う業務について、すべて最初に詳しく説明してもらったので、理解して仕事できました。引き出物のチェックでは、引き出物の内容がお客様一組一組で違って、数量も多いので大変でしたが、間違いがあつてはいない仕事なので、一つひとつ確認を怠らないように気をつけました。時間を無駄に使わないこと、次に確認する人にわかりやすくしておくことなど、効率的かつ連携をきちんと取る方法が、とても勉強になりました。

#### TAKAMI BRIDAL 長谷川さんに聞きました！



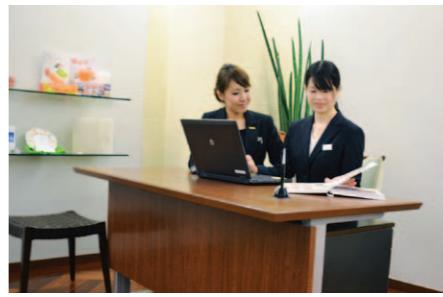
TAKAMI BRIDAL (高見株式会社)  
採用チーム  
長谷川 恵美 氏

### 社会人としての責任感や必要なものを、会社という空間で体感してほしい

TAKAMI BRIDALがインターンシップを受け入れる意味は2つあります。①学生の皆さんに日本の文化の一つである結婚式の良さを知ってもらうこと②クルーが働く姿を間近で見いただき、私たちクルーの挙式にかけられる想いやこだわりを体感していただくことです。お客様を一番に考えることやチームワークの必要性、社会人としての責任感などを、会社という空間で自分の肌で感じるのが、インターンシップの意義だと思います。

明るさや身だしなみはもちろんですが、「さまざまな人と接することが好きな人」や「お客様の幸せのために行動することを自分の喜びや力と感じられる人」にインターンシップに参加していただきたいです。そして、わからないことをわからないままにせず、自分から積極的に質問する姿勢があるといいですね。ビジネスマナーや人との関わり合い方は、どこの企業でも根本は同じです。インターンシップでそうした基礎意識を身につけることで、経験を活かしていくことができると思います。

新卒での就職活動は一生に一度の経験です。何千社、何万社もの企業を見ることはこの機会を逃すとなかなかないので、できるだけ自分の足で動いてたくさんの企業を知ってください。内定をゴールとするのではなく、その後の自分のライフプランを考えるときに、いきいきと自分が輝いていける場所を選んでほしいです。



## 1 ウエディングサロンで接客とデスクワーク

ウエディングサロンでは、来店されたお客様の湯茶対応や打ち合わせシートの記入などを担当しました。お茶出しをしたこともなかったのが不安でしたが、お盆の持ち方からお茶の入れ方まで丁寧に指導していただきました。初めてお客様と直接接する業務だったので、とても緊張しましたが、失礼のないように気をつけました。クルー1社員の皆さんが、サロン内ですれ違うときに笑顔で言葉をかけあっていたのが印象的でした。ちょっとしたことですが、声をかけることで、お互いが気持ちよく仕事ができるし、そうして社内が良い雰囲気をつくっているのだと思いました。

## インターンシップ体験

### TAKAMI BRIDAL (高見株式会社) 編

### インターンシップって何？

インターンシップとは、学生が就職前に一定期間企業などで仕事をすることです。本学では「事前研修」「就業体験」「事後研修」を一つの講座とし、大学側が協定を締結している企業、行政、NPO法人、図書館、公共施設等で就業体験を行っています。インターンシップへの参加は3回生を基本としていますが、2回生での参加も可能です。早期から社会との関わりを経験することで、自己表現の方法として職業をとらえ、就業観を確立します。



井本 裕子 さん  
現代ビジネス学部  
都市環境デザイン学科 2年生

### インターンシップに参加して

いきなり社会に出て働くことができるの不安だったので、少しでも社会経験をしてみたいと思い、インターンシップに参加しました。プライダル業界を選んだのは、高校生のときに学校の近くにプライダルチャーチ(結婚式専用のチャペルのこと)があり、そこで働く社員の方々の姿を見てあこがれていたからです。結婚式という素敵な時間のプロデュースや、お手伝いをしてみたいと思い、タカミプライダルをインターンシップ先に決めました。

## 小さな頃からあこがれていた銀行

私は京都出身で、京都にある企業に就職を希望していました。なかでも、銀行に勤務することにあこがれていました。京都銀行の面接では、面接官の方がとても話しやすく、自分の思っていることを全部話せました。話はずみ、楽しくてずっと笑顔でいられました。面接のときに、「窓口で働いている自分の姿が、イメージできました」とはっきり言うと、面接官の反応も良かったです。自分の思っていることを素直に話せたことが、いい結果につながったのだと思います。

### 頑張ってきたことを書き出してまとめる

就活の準備は早くからおき、余裕を持って活動を始めたいことをおすすすめします。自己分析のためにも、自分の性格や長所短所、頑張ってきたことなどを、たくさん書き出してまとめておきましょう。私はゼミで商品開発をしていて、京都の企業と協力し、リップクリームを開発していることやサークルのことなど、これまでやってきたことを細かく書きまとめていました。面接では、自信を持って堂々と挑むことが大切です。熱意を持って話す、相手にも伝わると思います。



大辻 詩歩 さん  
現代ビジネス学部  
都市環境デザイン学科 4回生

- 内定先 株式会社京都銀行
- ▼Webエントリー社数
- ▼ESを提出した社数
- ▼企業説明会に参加した社数
- ▼合同説明会に参加した回数

48社  
9社  
16社  
4回

## 内定者インタビュー PART1

就職を希望する学生が必ず経験しなければならないもの、それが就職活動です。  
内定を獲得した先輩たちは、どんな道を歩んできたのでしょうか。お話を伺いました。



中山 友里 さん  
人間発達学部  
英語コミュニケーション学科 4回生

- 内定先 三協立山株式会社
- ▼Webエントリー社数
- ▼ESを提出した社数
- ▼企業説明会に参加した社数
- ▼合同説明会に参加した回数

30社  
15社  
10社  
6回

### 英語力を活かせる企業に

私は生まれ育った富山県で地域貢献したいと思い、Uターン就職を決めました。富山は、医薬品や機械、金属など日本が世界に誇れるモノづくり文化が盛んな地域なので、それに携わる企業にしたいと考えていました。そして、大学で学んできた英語を活かせる企業を志望していました。第一志望だった三協立山株式会社は、今後、積極的に海外進出をしていく際には、留学で培ったコミュニケーション力や英語力を活かし、グローバルに活躍できるように頑張りたいです。

### 就活は自分のペースで

就活は一人ひとり違うので、自分のペースで進めましょう。そして、大事なことは行動することです。私は興味のある企業の説明会や企業訪問は必ずし、質問をして名前を覚えてもらうようにしていました。あとは、選考で落ちても粘り強く受け続けていくことです。準備は早ければ早いほど、志望する企業に手が届きやすくなると思います。面接対策では、キャリアセンター主催の模擬面接実習を活用しました。本番同様の面接練習ができますし、練習する機会を増やせるのでおすすめです。



堀 直道 さん  
文学部  
歴史学科 4回生

- 内定先 科研製薬株式会社
- ▼Webエントリー社数
- ▼ESを提出した社数
- ▼企業説明会に参加した社数
- ▼合同説明会に参加した回数

40100社  
60社  
2回

### 早くから就活の準備をする

私は3回生の5月くらいから就活を意識して行動していました。Webテストの勉強やES、履歴書の準備を始め、インターンシップも経験しようと思い、短期で証券会社、銀行、製薬会社、IT企業の4社のインターンに参加しました。最初はさまざまな業界を見ていましたが、MRの仕事に魅力を感じていました。父がMR職に就いていることもあり、イメージしやすかったこともあり、自分が販売した薬が、その薬を必要としている人に使われることで社会に貢献でき、そしてそれが評価にもつながるところが自分に向いていると思いました。

### MRという職業を理解する

MR職をめざすと決めてからは、全国の製薬会社にエントリーしました。落とされることも多かったですが、気合と根性で乗り切りました。父が相談相手でもありました。父の知り合いのMRの方からお話を聞くことで、MRという職業についてよく理解できました。その強みを活かし、積極的に行動力があり、精神的にタフであることをアピールしました。入社してからもスキルアップをして、第一線で頑張っていきたいです。



本 龍之介 さん  
現代ビジネス学部  
都市環境デザイン学科 4回生

- 内定先 大和ハウス工業株式会社
- ▼Webエントリー社数
- ▼ESを提出した社数
- ▼企業説明会に参加した社数
- ▼合同説明会に参加した回数

30120社  
20社  
1回

### 早い時期から就活に意識を向ける

大学に入学したときから、就職のことを意識して、準備をしていました。2回生後期からSPIの勉強を始め、英語力をつけるためにTOEICを受験したりしていました。営業職を志望したのは、アルバイトで店長代行を任されるなど、仕事に対する責任感があることと行動力があること、そして持ち前の明るく活発な性格が営業職に向いていると思ったからです。ハウスメーカーの営業職で内定が得られたのは、学科で学んだ建築の専門知識があったことも大きなポイントになったのだと思います。

### 自分に自信を持てる準備をする

就活では自分に自信を持つことが一番大事です。面接では、自分の熱意や思いを相手に伝えなければならないので、伝えるための練習が必要です。私は志望の企業の選考までに、他の企業の面接を受けて慣れるようにしていました。また、企業研究をしっかりとすることも重要だと思います。就活ばかりしているとモチベーションが続かないので、気分転換もしていました。友人たちと定期的に集まり、勉強会をした後に食事をするなど、楽しく過ごす時間を持つことも大切です。



井上 聖美 さん  
文学部  
歴史学科 4回生

- 内定先 株式会社飯田産業
- ▼Webエントリー社数
- ▼ESを提出した社数
- ▼企業説明会に参加した社数
- ▼合同説明会に参加した回数

114社  
25社  
64社  
1回

### 就活の軸を決める

就活を進めていくうちに、自分のなかで軸が定まってきました。それは、「人と関わる仕事がしたい」ということ。それと人の生活に関わる責任の大きな仕事に携わりたいという思いから、不動産の営業職に絞り込んでいきました。飯田産業は、会社の雰囲気や社員の方々の親しみやすいところが自分に合っていると思いました。選考期間中に女性社員の方とお話する機会をつくっていただいたことで、女性も活躍されていて、働きやすい環境を整えてくれているところだとわかり、ここで働きたいと思いました。

### スケジュール管理をしっかり

私は東京へのUターン就職を希望していたので、企業説明会や選考のたびに京都と東京を往復していました。1日に何社も選考が重なることがあったので、スケジュール調整が大変でしたが、とにかく就活手帳にメモをして管理をしっかりとしていました。自分の行きたい会社の企業研究はもちろん、選考方法をしっかり調べることをおすすすめします。選考で筆記試験がありますが、今はSPIとWebテストのどちらかを実施するようなので、対策をきっちりしていきましょう。

## 就活は友達と一緒に頑張りました

児嶋 祐加 さん  
人間発達学部  
英語コミュニケーション学科 4回生  
内定先 株式会社わかさ生活

# たちはなブログ スタッフpresents 就活って何？先輩に聞きました！

就活を終えた先輩2人に、たちはなブログスタッフたちが、後輩へのメッセージなどをインタビューしました。そして恒例のカバンチェックまでさせてもらいました！

## 家具を通して人の生活を良くしたい

中村 宣夫 さん  
現代ビジネス学部  
都市環境デザイン学科 4回生  
内定先 株式会社ニトリ

**Q.この内定先に決めた理由は何ですか？**  
内定は最終的に3社からいただいて迷いましたが、一番頑張った企業に就職したいと考え、選考回数が一番多かったわかさ生活に決めました。選考の回数が多いほど、自分のことをよく理解してくれていると思いました。

**Q.自己分析はどのようにしましたか？  
コツは何ですか？**  
私は友達と分析をし合いました。また、キャリアセンターのスタッフの方に、「自分はどういう人間か」を尋ねました。他人に聞いてみると、自分では気づけなかったことが見えてきます。

**Q.就職活動を経て、  
身についた習慣などはありますか？**  
何事も自分で調べてみることです。おもにインターネットを利用して、業界や企業研究を行っていたので、どんなことも1度自分で調べる習慣が身についたと思います。

**Q.ストレス解消法は何でしたか？**  
とにかく友達としゃべることです。一人になるといろいろと考えて落ち込んだりするので、一人にならないために毎日大学に来ていました。

**Q.では、ブログ恒例のかばんチェック  
をさせていただきます！就活のときは  
どんなものを持っていたのですか？  
必需品などはありましたか？**

手帳はスケジュール管理をするのに便利です。私は午前午後に分けて記入していました。履歴書も持っているすぐに記入ができますし、そのコピーをとっておくと、エントリーシートを書く際に自分が何を書いたのか参考にしながら書けます。あと、私の必須アイテムはヘアワックスです。就活では第一印象が大事なので、いつでもきちんと髪をまとめられるように持っていました。女性はストッキングの替えも持っていたほうが安心だと思います。



**Q.では、ブログ恒例のかばんチェック  
をさせていただきます！就活のときは  
どんなものを持っていたのですか？  
必需品などはありましたか？**

履歴書はいつも持ち歩いていました。急に必要になることもあるので、持っていることと安心です。あとライティングホルダーは重宝しました。これは父母の会からもらったもので、机がなくてもいつでも書けますし、ファイルには会社案内などを分けて入れていました。説明会が1日にいくつも入っていると、食事をする時間もなかつたりするので、移動中に手軽に空腹を満たす携帯食料も入れていました。



**Q.この内定先に決めた理由は何ですか？**  
私は就職活動が始まる前から、絶対ニトリに就職すると決めていました。ニトリは、安くいろんな家具を買いそろえることができるのが魅力です。この仕事を通して少しでも人の生活を良くしていきたいと思っています。

**Q.自己分析はどのようにしましたか？  
コツは何ですか？**  
自分の日頃の行いを見直すことです。例えば私の場合、「バイトのときに、来店したお客さんに周りは気づけなかったけれど、私だけは気づいて挨拶をすることができた」→「常に周囲に気を配ることができる」のような形で分析していきました。

**Q.就職活動を経て、  
成長したことなどはありますか？**  
社会人としての基本的な意識が身につきました。当たり前のことですが、時間を守って行動したり、相手の目をしっかりと見て挨拶をするようになりました。

**Q.ストレス解消法は何でしたか？**  
友人を誘ってボルダリング\*やカラオケに行き、ひたすら体を動かしていました。  
※ボルダリング…ロープなどの道具を使わずに岩や壁を登るスポーツ

## Q.最後に、後輩たちへのメッセージをお願いします。

最終的に内定を呼び込むのは、意思の強さだと思います。「絶対ここに入社する」という気持ちを持って就職活動に臨んでください。キャリアセンターの存在はとても大きいです。私は3回生の4月から通い始め、履歴書の書き方から面接の練習までとても親身になって指導していただき、就活の準備を整えることができました。「教えることはもうないから来なくていい」と言われるくらいまで通うことをおすすめします(笑)。

## Q.最後に、後輩たちへのメッセージをお願いします。

自分がどんな業界に行きたいのかを考えておくと、エントリー開始時期からスムーズに就活を始めることができます。また、女性ならば仕事内容だけでなく、福利厚生面も調べ、出産・育児のことも考えておきましょう。就活は一人ではなく、友達と一緒にすることをおすすめします。話し相手がいると落ち着きますし、頑張ろうという気持ちになれます。持つべきものは一緒に頑張る友達です！

### 編集後記

就活の仕方は人それぞれですが、キャリアセンターは就活生の強い味方のようなので、これから就活に臨む皆さん、使えるものはどんどん利用して、先輩たちのように社会へと踏み出していきましょう。

清水 華菜子さん 文学部 日本語日本文学科 3回生  
久保田 幹也さん 文学部 歴史学科 3回生  
大西 彩加さん 人間発達学部 児童教育学科 2回生  
高橋 瑠星さん 文学部 歴史学科 2回生  
小栗 実さん 文学部 文化財学科 3回生  
鶴井 彩乃さん 看護学部 看護学科 3回生



## 内定者インタビュー PART2

先輩たちは、どんな就職活動をしたのでしょうか。  
キャリアセンターや就職支援プログラムを  
どう活用したのでしょうか。  
希望の就職を勝ち得た先輩たちからのメッセージをお届けします。



西村 沙夕里 さん  
現代ビジネス学部  
現代マネジメント学科 4回生

内定先 洛和会ヘルスケアシステム  
▼Webエントリー数 9社  
▼ESを提出した社数 3社  
▼企業説明会に参加した社数 6社  
▼合同説明会に参加した回数 2社

### モチベーションを高め、自分自身が成長できると思えるところへ

高校生のとき、父親の入退院を親身になって支えてくれた職員の方と出会ったことから、医師や看護師とは違うかたちで患者さんを支える医療事務という仕事を志すようになり、3回生のときに、洛和会ヘルスケアシステムに10日間のインターンシップに行き、この病院でならモチベーションを高め、成長できると思いました。面接では、インターン時の気づきや継続力、心を込めた接客ができること、笑顔などをアピールしました。OB訪問などもしていたので、そうした熱意も伝わって内定をいただけたのだと思います。

### できたこと、良かったことを認めていくようにする

キャリアセンター主催のセミナーや業界別講演会、SPI対策などは全部受けて、ESの添削も必ずお願いしていました。就活中は、「この部分は認めてくれた」「これはできた」という、良かったことだけを残していくと、前向きに楽しくできると思います。就活には早めの準備が大切です。事前に準備をしていれば、焦ることなく臨むことができると思います。

### 自己分析で自分を知ることから始める

就活を始めた頃、自分の進みたい方向が見つからず、キャリアアドバイザーの方に相談していました。まずは自分を知るために自己分析をすすめられ、紙に書き出したり、友人に聞いたりしていると、自分では気がつかなかった気持ちや興味のあることがわかってきました。2回生のときの留学で、異文化に触れたことで、私自身が積極的になったことを思い出し、いろんな方に海外を経験してほしいという思いから、旅行業界の仕事をめざそうと気持ちが決まりました。

### 失敗から学び、成長につなげてほしい

選考試験は失敗の連続でした。自分の気持ちを相手に伝えることが苦手で、最初の頃は面接がうまくいきませんでした。でも、何度も面接を受けていくうちに、だんだん上手に話せるようになり、面接で話すことも楽しくなってきました。就活に行きつると、友人と話していました。自分だけが悩んでいるわけではないとわかって気が楽になったり、一緒に頑張ろうと思う力をもらいました。就活は自分を変えるチャンスです。落ち込むことも多いけれど、失敗から学び、成長につなげてほしいです。



松垣 優子 さん  
人間発達学部  
英語コミュニケーション学科 4回生

内定先 株式会社イチ・アイ・エス  
▼Webエントリー社数 80社  
▼ESを提出した社数 40社  
▼企業説明会に参加した社数 40社  
▼合同説明会に参加した回数 5回

### 身近に感じていた企業を志望

高校生の頃から、日本郵便をめざしていました。父が郵便局員だったこともあり、私にとっても身近な企業だったからです。地域に密着していて、お客様との距離が近い関係であることや、ネットワークを通じて全国にサービスを提供できるのが魅力でした。郵便局の窓口営業では、幅広い対応が必要とされるので、多くの知識を習得し、お客様に信頼される対応ができるようになりたいです。そして自分自身の成長にもつながってほしいです。

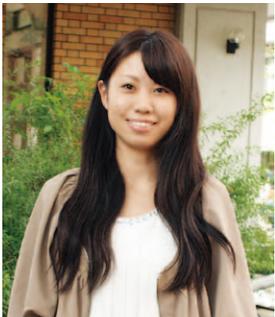
### キャリアセンターの個別相談を利用する

キャリアセンターの利用はおすすです。アドバイザーの方と個別に話ができるので、どんなことでも気軽に相談ができました。私は採用試験前に、グループディスカッションの対策を相談しました。そのときの「相手の意見を尊重しながら、自分の意見を話す」「自分の意見を下げることでも大事」というアドバイスを参考に、実際もうまく話を進めることができました。就活では、なかなか内定が取れなくても、あきらめず自分に合った企業を探そうとが大事だと思います。



城下 雄哉 さん  
現代ビジネス学部  
都市環境デザイン学科 4回生

内定先 日本郵便株式会社  
▼Webエントリー社数 0社  
▼ESを提出した社数 0社  
▼企業説明会に参加した社数 1社  
▼合同説明会に参加した回数 0回



岩佐 知美 さん  
現代ビジネス学部  
現代マネジメント学科 4回生

内定先 株式会社位和堂  
▼Webエントリー社数 40社  
▼ESを提出した社数 4社  
▼企業説明会に参加した社数 16社  
▼合同説明会に参加した回数 2回

### 地元の企業で働きたい

私は地元の滋賀県が大好きで、地元企業で働きたいと思っていました。コンビニでのアルバイト経験から、人と話ができる接客の仕事をしたかと思いましたが、第一志望だった平和堂は、小さな頃から利用していて、店舗にいると落ち着くほどなじみがあり、地域の人の生活に役立つことが魅力でした。選考試験のときに「面接は落とすためにしているのではなく、いい人を見つけて入ってほしいからしています」と聞いて、改めてここで働きたいという意志が強くなりました。

### 印象に残ることをする

就活は、楽しんでほつがうまくいくと思いません。説明会や選考試験で知り合った人と仲良くなり、友達になることもありました。仲良くなる、緊張する選考試験も一緒に頑張っていると思えて、気が楽になりました。あと、面接後部屋を退出するときに、必ず一言添えていたことがあります。それは「ぜひ、よろしくお願いします」です。ほとんどの人が「ありがとごうございました」と言っていたので、少し違う言葉を言って印象に残るようにしていました。



水野 ひかる さん  
文学部  
日本語日本文学科 4回生

内定先 ネットヨタ滋賀  
▼Webエントリー数 60社  
▼ESを提出した社数 5社  
▼企業説明会に参加した社数 25社  
▼合同説明会に参加した回数 1社

### 「ギャップなく働ける」と思える企業に

ネットヨタ滋賀では、筆記試験や面接試験の前に、面談が4回行われました。学生の不安や疑問を解決し、ミスマッチを防ぐ時間を多く設けてくれた誠実さに、「ここなら入社後にギャップなく働けるのでは」と思いました。

面接のときは、アルバイトで自分から仕事を見つけて働き、成長した経験と、人を覚えるのが得意なことを、リラックスして話すようにしていました。また、人事の方の記憶に少しでも残るよう、面談の予約もネットではなく必ず電話でするようにしていました。

### 一緒に就活を頑張れる仲間を見つける

キャリアセンターは月1回くらい、面談とESの添削で利用しました。なかでもSPI対策は外部講師の方の説明がとてもわかりやすくおすすです。就活を乗り越えるためには、一緒に頑張れる仲間を見つけること、そして、あきらめずに続けることです。また、早めの準備も大事です。自動車販売はまだまだ女性が少ない業界です。女性や若者たちにも入りやすい店をプロデュースし、頼れる存在になっていきたいと思っています。

## 吹奏楽部

### 関西吹奏楽コンクールで金賞を受賞！



吹奏楽部は、2013年8月18日(日)に奈良県の橿原文化会館で開催された第63回関西吹奏楽コンクールで、大学の部の金賞に輝きました。これに先立つ

8月8日(木)の第50回京都府吹奏楽コンクールにおいて6度目の金賞を受賞し、京都府代表の1枠を獲得して出場したものです。

残念ながら、全国大会への出場は逃したものの、課題曲「エンターテインメント・マーチ」(川北 栄樹)、自由曲「歌劇トスカ」(G.プッチーニ)の、すばらしい演奏を披露しました。

### 京都市山科区役所と地域連携・協力に関する協定を締結



本学と京都市山科区役所は、地域連携・協力に関する協定を締結しました。2013年9月24日(火)に、本学キャンパスにおいて、山科区長の石黒善治氏らを迎え、調印式を開催しました。

これまで、本学と山科区役所は、区の観光に関する調査の共同実施や、区が刊行する印刷物に対する教員・学生の編集協力、区内イベントへのサークルの参加、本学主催フォーラムへの区職員の参加などの連携・協力を実施してきました。今回の協定締結を機に、さらに連携を強化し、さまざまな取り組みを企画・実施していく予定です。

また、協定締結に先立ち、地域連携事業を統括し、全学一体となって推進する組織として、細川涼一学長を室長とする「京都橘大学地域連携推進室」を設置しました。山科区役所との連携・協力は今後、この推進室を中心に展開します。

さらに、大学の知や学生の活力を利用し、地域の課題解決をはかるため、正課科目として2014年度から「地域連携科目(仮称)」を開講予定です。山科区役所の職員を講師に招くなど、大学としての区の課題解決に積極的に取り組む人材や、情報等が集まる地域コミュニティの中核的存在としての機能を強化していきます。

### 東日本大震災復興支援ボランティアを実施



本学では、8月20日(火)～27日(火)に、東日本大震災の復興支援ボランティアとして、学生40人が岩手県で活動しました。この活動は、昨年に引き続き2回目と

なります。今回、岩手県遠野市の「NPO法人遠野まごころネット」を拠点としながら、沿岸部の大槌町や釜石市、大船渡市などでボランティアを行いました。多目的農園での農作業の手伝いや、盛岡市で発生した集中豪雨被害の泥出しなど、さまざまな活動に京都橘チームは一丸となって臨みました。

10月9日(水)には、「東日本大震災復興支援ボランティア活動報告会」を本学明優館203教室で実施し、ボランティアを継続していくことの重要性や、震災復興の今後を考えました。

### グローバル人材育成プログラム 「台湾の経済・社会・文化」を実施



2013年9月8日(日)～9月15日(日)に、夏期海外体験プログラム「台湾の経済・社会・文化」を実施しました。これはグローバル人材育成プログラムの第一弾として行われたもので、国際感覚を身に

つけたい学生や、将来海外や外資系企業などで活躍したいと考えている学生25名が参加しました。

今回実施したプログラムは、日本と歴史的、文化的に関わりが深い台湾の「経済・社会・文化」に触れて学ぶことを目的としており、日系企業や現地企業を訪問したり、工場見学を行ったりするなど、グローバルにビジネスを展開する企業に接する貴重な機会となりました。ほかにも、実践大学高雄キャンパスや輔仁大学を訪問し、現地の学生と交流を深めました。台湾の「経済・社会・文化」を肌で感じたことで、国際理解が促進され、積極的にグローバル化と向き合うきっかけとなることが期待されます。